

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共施設予約システム等維持管理						款	3	項	1	目	1	事業	11	整理番号	64
担当部課名		区民生活部地域課						係名	地域施設係			連絡先電話番号	765	昨年度整理番号	66		
(平成23年度担当部課名)		区民生活部地域課						予算事業区分			既定事業						
事業開始		平成	▼	15	年度				<input type="checkbox"/> 主要事業								
事務事業の概要		対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 施設の利用者及び利用団体						根拠法令等		(1) 杉並区公共施設予約システムの利用に関する要綱 (2)							
		事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○簡単、便利に施設利用申込を行えるシステム運用を行う。 ○抽選申込等の機能により、利用者に公平な施設利用機会を提供する。						活動指標名(式)		(1) システムアクセス数 (2)							
		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○集会施設の利用者が施設の予約を公平・円滑・安全に行えるためのシステム運用業務 ○インターネット、電話、携帯サイトから公共施設の抽選申込み、予約を受け付ける公共施設の予約受付業務						成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
								成果指標名(1)									
						算定式・指標の説明等											
						成果指標名(2)											
						算定式・指標の説明等											
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		24年度計画				
指標	活動指標(1)	①	回	700,632	700,000	937,378	852,000	1,119,465	1,343,000			131.4					
	活動指標(2)	②															
	成果指標(1)	③															
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	104,090	65,787	59,183	57,761	55,384	58,814	23年度予算執行率%		95.9					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成24年度から「被災者情報管理」を「地域住民活動推進」から本事業に移行したため、「24年度計画」欄の事業費等については、本事業に加えて「被災者情報管理」にかかる費用を合計して記載しています。							
	(内)委託費	⑦	千円	84,797	44,189	39,883	37,274	35,911	37,838								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.45 2.00	5.00 2.00	4.45 2.00	4.45 2.00	4.68 1.00	4.68 1.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	48,391	44,600	39,694	39,605	41,652					41,652			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	5,586	5,900	5,900	6,160	3,080					3,080			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	158,067	116,287	104,777	103,526	100,116	103,546								
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	226	166	112	122	89	77								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0					0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0					0			
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0					0			
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	158,067	116,287	104,777	103,526	100,116	103,546								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 64

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		公共施設予約システム運用業務委託			26,827
		さざんかねっと(集会施設)ガイドブック印刷請負			1,449
		高井戸地域区民センター外1施設の改修に伴う公共施設予約システム改修作業委託			1,407
		西荻地域区民センター外4施設のトレーニング室転用等に伴う公共施設予約システム改修作業委託			787
		その他( 端末回線料、機器リース料ほか )			24,914
	(2) 事業実績	平成24年5月7日に運営開始の改修後高井戸地域区民センターをさざんかねっとに反映させるため、システムの改修を行いました。また、地域区民センターのトレーニング室を軽運動室に転用するための、システム改修を行いました。 さざんかねっと(集会施設)ガイドブック第7版を平成24年2月1日に発行しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年(11月利用分)から集会施設、平成17年(6月利用分)からはスポーツ施設についてさざんかねっとシステムによる予約受付を開始しました。 平成22年1月にサーバ等の機器を交換しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、室場の空き枠の確認と空いている室場の予約は別メニューとなっていますが、空き枠がある場合、別メニューに入らず空き枠の確認からの申込みが行える機能の追加やインターネットから利用者が備品を直接申し込むことができる機能の追加等について要望があります。
	今後の予測	本システムは、平成15年から利用している古いパッケージシステムのため、平成27年2月以降は現在の委託業者から、保守の継続が困難である申し入れがあります。このため、平成26年度に実施する機器の更新とあわせてパッケージシステムを更改する必要があります。
	評価と課題	高井戸地域区民センターの改修、地域区民センターのトレーニング室転用に伴い発生したシステム改修はスケジュールどおり完了し、安定した運用を続けています。ただし、現システムでは対応が難しい備品の貸し出しのシステム化、利用時間枠の細分化などの要望については、平成26年度のシステム更改に向け引き続き検討を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
	平成26年度に実施予定の機器の入替時に、パッケージシステムを更改する予定です。この際に、現在利用者から要望があり、必要性を認識しつつも実現できていない機能の提供を実現していきます。あわせて、利用者登録要件や直前キャンセル期間の変更など、施設利用に関する制度について見直しを行い、必要な制度改正を実施しシステムに反映させていきます。					

特記事項	
------	--

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	平和事業の推進			款	3	項	1	目	1	事業	12	整理番号	65			
担当部課名	区民生活部管理課			係名	庶務係			連絡先電話番号	3755			昨年度整理番号	67			
(平成23年度担当部課名)				区民生活部管理課					予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区平和都市宣言 (2)							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。						活動指標名(式) (1) 平和のつどい開催日数 (2) 後援名義等使用件数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○平和のつどいの実施 ○平和のためのポスター絵画コンクールの実施 ○北朝鮮拉致被害者家族支援 ○平和への意識の啓発を図る						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 平和のつどいへの参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 平和のためのポスター絵画コンクール応募者数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績		計画				
指標	活動指標(1)	①	日	8	20	6	20	7	20	35.0						
	活動指標(2)	②	件	14	15	12	12	7	12	58.3						
	成果指標(1)	③	人	550	700	610	700	700	700	100.0						
	成果指標(2)	④	人	515	700	803	700	903	700	129.0						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,075	3,238	1,578	3,256	2,346	3,254	23年度予算執行率%		72.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	457	270	235	380	228	340							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.05	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00				0.71	0.00	0.65	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,323	5,798	5,798	5,785	6,319				5,785			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	13,398	9,036	7,376	9,041	8,665	9,039							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,674,750	451,800	1,229,333	452,050	1,237,857	451,950							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	13,398	9,036	7,376	9,041	8,665	9,039							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 65

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		平和のつどい(8月・3月)	2	回	422
		北朝鮮拉致被害者家族支援	4	回	122
		平和のためのポスター絵画コンクール	1	回	311
		平和事業の連携啓発			1,491
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	平和のためのポスター絵画コンクールについては、区内29校・903人の応募があり、瑞草区との共同開催で両区で展示会を行いました。北朝鮮拉致被害者家族支援については、区役所でパネル展を開催し、さらに3箇所の地域区民センターのイベントでパネル展示を行いました。また、23年度から平和教育授業に関するゲストティーチャーを区立小学校4校に派遣し、生徒に戦争・被爆体験談を伝える授業を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	戦争体験者の高齢化が進んでいるため、戦争の惨禍を風化させずに平和の尊さを次の世代に語り継ぐ必要があります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	原水禁署名運動発祥の地として、平和都市宣言自治体として、平和の尊さの啓発に取り組んでいってほしい旨の要望がありました。また、議会から、「平和市長会議」に加入し、平和行動の推進役になってもらいたいとの要望がありました。
	今後の予測	昭和63年3月30日に「杉並区平和都市宣言」を行い、25周年を迎えるにあたり、新たに策定された基本構想・総合計画等を踏まえ、区民の豊かな生活と活動の基盤となる平和な社会の実現を目指していくため、国内外の都市との連携が必要不可欠と予測されます。
	評価と課題	区の平和事業の礎である「杉並区平和都市宣言」に謳われている「平和ゆえの幸せを永遠に希求し、次の世代に伝えよう」を念頭においた、「平和教育授業」に関するゲストティーチャーの派遣を23年度から区立小学校で行い、区内の平和関連団体との協働・連携のもと「平和を希求する心を育む」、「次世代に戦争の悲惨さを伝える」ことを今後も継続しさらに区立中学校へも拡大していくよう推進していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		平成25年3月で「杉並区平和都市宣言」から25周年の節目を迎えるにあたり、「平和都市宣言」にある「次の世代に伝えよう」を原点として、今後もさらに、若年層を中心に「戦争の悲惨さ、平和の大切さ」を伝えていく取組を推進していきます。また、国連や世界の多くの都市と連携し国際的な規模で核兵器廃絶を目指し、平和を希求する区の姿勢を国内外に示していくために、世界153カ国・地域、5,276都市、国内1,148都市(6月1日現在)が加盟している「平和市長会議」への加盟を検討します。	

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	男女共同参画の推進			款	3	項	1	目	1	事業	13	整理番号	66		
担当部課名	区民生活部管理課			係名	男女共同・犯罪被害者支援			連絡先電話番号	3756			昨年度整理番号	68		
(平成23年度担当部課名)				区民生活部管理課						予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	3	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	区民、職員、各主管課							根拠法令等	(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)								
	○男女平等や男女共同参画についての理解を深めます。 ○男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行します。						(1) 男女共同参画推進区民懇談会の開催数 (2) 啓発品作成数								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
○「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の策定、推進 ○区民懇談会で男女共同参画についての区民意見集約 ○杉並区行動計画推進状況の調査 ○男女共同参画意識の啓発						成果指標名(1) 審議会等における女性委員の登用数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) (代)啓発品配布数 算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績			計画			
指標	活動指標(1)	①	回	6	10	7	6	0	3	0.0					
	活動指標(2)	②	個	4,500	5,000	4,000	5,000	5,000	5,000	100.0					
	成果指標(1)	③	%	35.7	40.0	37.8	40.0	37.1	40.0	92.8					
	成果指標(2)	④	個	4,065	5,000	1,800	5,000	5,000	5,000	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,914	2,547	1,140	6,083	3,309	2,895	23年度予算執行率% 54.4					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0		0	0	特記事項 ○「意識と生活実態調査」を実施のため、委託料が増えています。(前回は平成17年度) ○実態調査は当初区民向けと企業向けを予定していましたが、企業向けは「産業実態調査」に組み込むこととし、区民向け調査のみ実施したため、執行率が低く抑えられました。					
	(内)委託費	⑦	千円	61	98	2	4,162	2,312	42						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.10 0.00	1.30 0.70	1.00 0.00	1.00 0.00	1.30 0.00	1.40 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,767	11,596	8,920	8,900	11,570		12,460				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	2,065	0	0	0		0				
	総事業費⑤+⑨+⑩			⑪	千円	11,681	16,208	10,060	14,983		14,879	15,355			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①			⑫	円	1,946,833	1,620,800	1,437,143	2,497,167		5,118,333				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0		0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	11,681	16,208	10,060	14,983	14,879	15,355						
受益者負担比率⑬÷⑪			⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 66

23年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		啓発用品の作成・購入等			
		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査	1	回	445
		男女共同参画に関する意識と生活実態調査	1	回	2,048
		その他 ( )			387
	(2)事業実績	○「行動計画」策定の基礎資料とするため、「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」を実施しました。(対象者4,000人) ○企業啓発セミナーは、企業の人事担当者だけでなく、子育て中の父親にも対象を広げ開催しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1% → 平成24年 37.1% 「女性に対する暴力」相談件数 平成14年度 212件 → 平成23年度 292件 女性の社会進出の進んでおり、杉並区での審議会等における女性委員の登用数は年によっての変動はあるものの目標の40%に近づいています。 また、DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況は変化していますが、若者のあいだでのデートDVはまだ認識度が低く、若年者への周知が必要となっています。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○23年度に実施した実態調査では、女性の働き方について結婚出産後も仕事を続けるほうがよいとする意見が増えるなど意識の変化がみられます。 ○男女平等・共同参画についての意識について、地道な働きかけをすることや、働きやすい環境(保育所、子育ての支援)への要望がありました。	
	今後の予測	安心して働ける環境(保育園、高齢者施設)の整備や、就労・再就職への支援が増々求められることが予想されます。	
	評価と課題	「意識調査」を実施し、杉並区民の男女共同参画に対する考えを調査分析しました。これを24年度の行動計画改定に活かし、さらなる男女共同参画の推進に役立てていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	基本構想に掲げる目標「人を育み共につながる心豊かなまち」の実現に向けて、男女が平等な立場で互いを認め合い、それぞれの能力を発揮できる男女共同参画社会をめざします。 今年度は、男女共同参画社会基本法で定められている「市町村男女共同参画計画」として行動計画の改定を行います。男女共同参画に関する法律・指針や区行政計画との整合を図りながら、現行計画における課題や進捗状況を十分に踏まえた改定とします。ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮し、雇用等を含む社会環境づくり、あらゆる暴力を根絶した安全・安心な社会の実現、東日本大震災を踏まえて男女共同参画の視点からの地域の安心・安全の確保に留意し、男女共同参画区民懇談会の意見伺いながら行っていきます。また、関係各課との連携を図り計画を推進していきます。		

特記事項	
------	--

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女平等推進センターの運営		款	3	項	1	目	1	事業	14	整理番号	67
担当部課名		区民生活部管理課		係名	男女共同・犯罪被害者支援		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	69		
(平成23年度担当部課名)				区民生活部管理課				予算事業区分		既定事業			
事業開始		平成	▼	9年度		<input type="checkbox"/> 主要事業							
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体								(1) 杉並区立男女平等推進センター条例 (2) 杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識啓発を図ります。 ○女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進します。 ○女性相談者に対して、問題解決のための適切な指導・助言を行い、快適な生活を送るための手助けをしていきます。						活動指標名(式)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○男女共同参画社会をめざすことを目的とした啓発講座等の開催 ○男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援 ○女性の悩みごとに関する相談の実施 ○男女平等推進センターの維持管理						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
												成果指標名(1) 区民向け啓発講座受講者の延べ人数	
												算定式・指標の説明等	
												成果指標名(2) 配偶者等からの暴力についての相談件数	
												算定式・指標の説明等	
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)		①	回	10	15	10	15	10	15	66.7		
	活動指標(2)		②	日	306	305	305	306	306	305	100.0		
	成果指標(1)		③	人	296	300	287	300	322	300	107.3		
	成果指標(2)		④	件	367	350	302	350	292	350	83.4		
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	19,566	21,602	20,213	21,262	19,399	21,164	23年度予算執行率% 91.2		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費		⑦	千円	16,637	17,375	16,980	17,395	16,185	17,370			
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	1.09 0.00	0.60 0.40	1.00 0.50	1.00 0.50	1.30 0.00	1.30 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,678	5,352	8,920	8,900	11,570	11,570			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	1,180	1,475	1,540	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	29,244	28,134	30,608	31,702	30,969	32,734			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	2,924,400	1,875,600	3,060,800	2,113,467	3,096,900	2,182,267			
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	29,244	28,134	30,608	31,702	30,969	32,734				
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 67

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		相談業務委託	306	日	10,000
	施設保守管理委託	306	日	898	
	光熱水費			638	
	講座の開催	5	講座	815	
	その他 ( )			7,048	
	(2) 事業実績	区内で活躍する団体に区民向け講座の企画・運営を委託し、5テーマ10回実施しました。区民の啓発のみならず、団体に委託を行うことで、団体を育成する意図もある委託講座ですが、企画応募団体も増加しており、その認知も広がっていることが伺えます。相談業務は、土・日・祝日も実施しており、身近な相談窓口となっています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	配偶者等からの暴力についての相談件数 平成14年度 212件→ 平成23年度 292件 DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況の変化が、被害者の顕在化として相談件数に反映しています。 区民向け講座では、新しいNPO法人などからの講座企画の応募も増えており、今後の団体の活動が期待されます。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民向けの講座では、男性も気軽に参加できるものを実施してほしいとの要望があります。また、相談業務に関しても、男性の相談も受け付けてほしいという要望が出ています。
	今後の予測	高齢社会・共働き世帯の増加等、社会変化の中で、男性・女性問わず、ワークライフバランス等をテーマにした講座に対する関心が高くなることが予想されます。相談業務に関しては、相続の問題等高齢者の方の相談も多くなるものと思われます。
	評価と課題	講座参加者の満足度は高く、多くの受講応募もありました。今後も、区民のニーズに沿った集客の見込める講座を実施できるよう努めてまいります。また、相談業務に関しては、女性だけでなく、男性からの相談の希望が見られるようになっております。今後に向け、区での相談体制を整備していくことが必要です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		平成22年度から男女平等推進センターでは区民向け講座の企画・運営を公募して実施していますが、新しいNPO法人などからの講座企画の応募も増えており、魅力的な講座企画が提出されています。男女平等推進センターの目的の一つである団体の育成という面からも、さらに多くの団体に活躍してもらい、併せて区民の男女共同参画意識の向上に結び付けていきます。講座の開催場所についても同センターを積極的に利用し、同センターの区民への周知を図り、講座参加に限らず、交流コーナーや資料コーナーなど日常的な利用を増やしていくようにしていきます。 相談事業では、国や都、他自治体においても、女性相談だけでなく、男性相談を受け付ける体制を整える動きがみられます。男女平等推進センターの相談受付体制、施設状況から、面談での男性相談は実施が難しい状況です。今後の相談事業については、実施体制の面からも再検討していく必要があります。				

特記事項	
------	--





# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 68

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		日本フィルとの友好提携事業	36	件	1,047
		区民ギャラリーの活用	34	件	314
		杉並公会堂利用料	21	件	12,007
		その他（後援名義使用51件 ほか）	8,310		
	(2) 事業実績	日本フィル友好提携事業では、杉並公会堂でシーズンコンサートと公開リハーサルを各4回、区役所でのロビーコンサートを2回、学校への出張音楽教室や区施設への出張コンサートを合わせて25回、エデュケーションフェスティバルを1回実施しました。区民ギャラリーは、節電対策により予定していた女子美企画展を中止、区民への貸出件数も減となりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第39回区民意向調査(H19) 地域文化の振興施策 評価できる=9.4% 要望が高い=5.7% 第44回区民意向調査(H24) 地域文化の振興施策 評価できる=8.7% 要望が高い=6.9%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィル友好提携事業では、特に3月25日に杉並公会堂で行われたエデュケーションフェスティバルが大盛況であり、多くの親子を中心に好評であった。節電対策に伴う区民ギャラリーの照明の不点灯について、要望を複数いただいた。
	今後の予測	震災の復興とともに、文化芸術活動も活発に行われ、人々の豊かな生活に重要な要素となる事に変わりはありません。国の動向として「劇場、音楽堂の活性化に関する法律案」の準備が進んでいることを踏まえ、杉並芸術会館、杉並公会堂など区施設の役割、機能を検証、改善する必要があると予想されます。
評価と課題	日本フィル友好提携事業では、エデュケーションフェスティバルを中心に区民から好評のイベントを行うことができました。区民ギャラリーでは、節電対策により事業展開に限られたため、平成24年度は節電と区民サービスの両立を目指します。	

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	● 拡 充	○ 現 状 維 持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	平成24年度に設置する文化・芸術振興審議会において、平成25年度からの助成金制度について諮問、答申していただき、新たな文化芸術団体等への助成について、実施、検証等を行っていきます。日本フィル友好提携事業では、平成24年度から開始した実行委員会方式による日本フィル杉並公会堂シリーズについて、検証・改善を行い、出張コンサート等やエデュケーションフェスティバルについては、評価されている部分を更に充実し、課題点について見直しを行います。					

特記事項	
------	--

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並区文化協会助成	款	3	項	1	目	2	事業	2	整理番号	69	
担当部課名	区民生活部文化・交流課	係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3053			昨年度整理番号	71	
(平成23年度担当部課名)		区民生活部文化・交流課							予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区文化協会補助金交付要綱					等 (2)
	区民、文化・芸術団体											
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)					
○区民の文化・芸術に触れる機会が増え、区民の文化・芸術活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能します。						(1) 文化芸術鑑賞・育成振興事業入場者数					(2) 助成金交付決定件数	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
○杉並区文化協会に対し、文化事業が円滑に行えるように補助金を交付する。この補助金をもとに、協会は文化・芸術に関する鑑賞事業、文化・芸術活動の育成・支援事業を行う。						成果指標名(1) 協会会員数						
○協会の会員制度を運営し、広報・情報提供を行うほか、個人や団体に文化芸術活動助成基金助成事業を行う。						算定式・指標の説明等						
						成果指標名(2) アンケートによる事業の満足度						
						算定式・指標の説明等					アンケート実施各主催事業の満足度の平均値	
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画				
指標	活動指標(1)	① 人	172,994	185,000	189,968	185,000	125,682		67.9			
	活動指標(2)	② 事業	34	35	48	30	25		83.3			
	成果指標(1)	③ 人	1,710	2,000	1,720	1,600	965		60.3			
	成果指標(2)	④ %	90	100	94	100	96		95.9			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	68,881	69,344	59,135	62,506	54,453		23年度予算執行率% 87.1			
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0		特記事項 震災の影響で中止となった公演が続いたことや、後援名義申請の減少(活動実績を把握する団体も減る)によって、活動指標(1)の実績値は目標を下回っています。 平成24年3月末に協会が解散となり、会員制度も廃止に成ったため、成果指標(1)は平成24年2月末の実績値を掲載しています。			
	(内)委託費	⑦ 千円	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	4.28   0.00	4.00   0.00	4.31   0.00	4.00   0.00	4.23   0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	38,002	35,680	38,445	35,600	37,647		0		
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0		0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	106,883	105,024	97,580	98,106	92,100	0				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	618	568	514	530	733					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	0	0	0	0	0		0		
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	106,883	105,024	97,580	98,106	92,100	0				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 69

23年度の事業実施状況	内容	規模	事業費(千円)	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組み	文化協会助成			54,453
	その他 ( )			0
(2)事業実績	コンサートなど文化・芸術に関する鑑賞事業を7事業実施しました。文化・芸術活動の育成・支援事業では、区民の創造的文化・芸術活動への参加機会の提供として1事業実施し、支援事業として杉並演劇祭ほか66事業について後援しました。すぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業では、25の個人・団体への助成を決定しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・基幹施設の開設・・・杉並公会堂のリニューアルオープン(平成18年)、座・高円寺開館(平成21年)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・情報紙「コミュかる」については、イベント等に行ってみたくなる、情報が役にたっているなどの評価があり、協会解散後の情報紙発行について問い合わせが相次ぎました。 ・会員制度・チケットシステムの終了については、惜しまれつつも一定の理解を得て廃止に至りました。
	今後の予測	
評価と課題	外郭団体の特性を生かした柔軟な運営、多様な事業提供により、参加者の満足度は高く、一定の評価を得てきたところです。杉並公会堂、座・高円寺という文化基幹施設の閉館によって、施設を中心に幅広い事業が展開されたことから、協会における文化振興の役割は果たしたと考えられます。協会解散後は、必要な事業について円滑に区に引き継ぐとともに、区民の文化芸術活動を支援する仕組みについて検討していくことが課題です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更	
	<p>・文化協会理事会において協会の発展的解消も含めた今後のあり方を検討した結果、平成24年3月末をもって組織を解散することを決定しました。</p> <p>・文化協会の理事会(政策提言組織)機能は、24年度から設置される杉並区文化・芸術振興審議会へ、文化・芸術活動の育成・支援事業である助成金事業は、必要な見直しを行いながら新たな助成制度の立ち上げへ、友好提携に基づく日本フィルシーズンコンサートは、実行委員会方式による開催へ、情報紙「コミュかる」の発行は、製作形態を見直し区で継続発行するなど、協会解散後も必要な事業は区に移管して継続実施していきます。</p>					

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 70

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		友好都市等親善訪問団受入れ	7	回	379
		国内交流自治体訪問	9	回	1,268
		瑞草区友好アクション・プログラム			2,357
		その他 ( )			2,376
(2) 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内交流では、東日本大震災で被災地となった福島県南相馬市(被災者)や原発事故の風評被害による影響がでている福島県北塩原村への支援を行いました。具体的には、南相馬市支援では、物産販売の売上げの一部を義援金としたほか、民間からの支援申し出の橋渡し等を行いました。また、北塩原村支援では、農業体験ツアーや雪まつりボランティアツアーによる人的支援などを行いました。</li> <li>国際交流では、大韓民国瑞草区と中高校生交流会の実施や友好都市協定締結20周年に伴う瑞草区訪問を行い、国際友好親善を図りました。</li> </ul>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国内交流は、平成元年に群馬県東吾妻町(旧吾妻町)、北海道名寄市(旧風連町)を始め、現在は、新潟県小千谷市と福島県南相馬市、福島県北塩原村、東京都青梅市と交流を行っています。従来の儀礼的な交流から物産展やバスハイクなど経済的な交流を軸とした民々の交流に力を入れています。また、東日本大震災後は、南相馬市への支援を多角的に行っています。国際交流は、オーストラリア・ウィロビー市と大韓民国ソウル特別市瑞草区との交流を行っていて、それぞれの交流都市との周年事業も実施しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流都市が区役所で行っている野菜などの物産販売は、毎回完売に近い状況が多いことから、産地直送による交流都市農産物への区民の人気の高さが推察されます。</li> <li>都会では難しい自然体験や保養地などの観光分野での交流を進めて欲しいとの要望があります。</li> <li>食品の安全性を心配する声がある一方で、被災地の特産品を販売して欲しいという要望もあります。</li> </ul>
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流都市からは、大消費地である杉並区内での販路拡大を望む期待が益々高まることが予測されます。</li> <li>原発事故により農業や観光に大きな影響が出ている南相馬市と北塩原村に対する、更なる支援を望む声が多くなると予測されます。</li> <li>原発(放射線漏れ)事故により、交流都市が区役所や区内で行っている物産販売で、一部の野菜販売が出来なくなるなどの影響があり、このような状況は今後もしばらく続くものと予測されます。</li> </ul>
評価と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>物産展では、売り上げアップが図られるような対応(協力)と販売する特産品の安全性を確認します。</li> <li>交流都市への区内イベントの情報提供や出店依頼を行う一方で、交流都市からの輸送コストを踏まえた出店依頼を行います。</li> <li>国際交流については、日程調整や経費負担等の様々な問題から、交流事業数が減少している状況となっています。</li> </ul>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の交流都市や地域との多様な交流事業を通じて、相互理解の促進と友好の輪を広げていきます。</li> <li>国内交流については、津波被害や原発事故の風評被害で、苦境に立たされている南相馬市や北塩原村への更なる支援を行います。</li> <li>交流自治体合同物産展を開催し、スケールメリットによる交流自治体のPRと特産品の販売促進を図ります。</li> <li>区内で開催されるイベントで、より多くの交流都市の物産販売を行うことができるよう、情報収集と主催者との調整を行います。</li> </ul>		

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き東日本大震災被災地等の復興支援(経済支援)が重要な課題となっています。</li> <li>23年度において、区は北塩原村、青梅市、武蔵野市と新たに災害協定を締結し、全体で7都市と災害時(防災)援助協定を締結しました。</li> <li>24年度は、区制施行80周年記念事業を実施する中で、交流都市との更なる交流推進を図ります。</li> </ul>
------	---



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 71

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		交流協会助成			
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄市や東吾妻町への阿波おどり団の派遣のほか、高円寺阿波おどり大会において東日本大震災で甚大な被害があった南相馬市からおどり団を受け入れ、南相馬市のおどり団に大きな声援が送られました。</li> <li>・小千谷ウォーキング交流ツアーを実施し、ウォーキングのほか、震災ミュージアムの見学や蕎麦打ち体験など、市民との交流を行い小千谷市との交流推進が図られました。</li> <li>・杉並区ワールドカフェ・サロンという会議手法を用いて参加者が対話する事業を新たに始めました。</li> </ul>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成3年に設立され、同5年に国際交流協会として財団化、12年には財団を廃止し、文化振興協会と統合という変遷を経て、18年に現在の組織となっています。現在は、従来の行政主導の交流から民々交流へ転換していくうえで調整を担う役目があります。また、国際化が進展する中、在住外国人支援事業を実施する中心的な組織となっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生時代の進展に対応し、行政による在住外国人を対象とした施策が乏しい現状をカバーするために、交流協会が実施している様々な在住外国人支援事業への期待が高まっています。</li> <li>・交流協会は、直接行政でないため外国人が、気軽に立ち寄り、事業に参加しやすいとの声があります。</li> <li>・区民から交流協会の事業を通じて、馴染みのない外国の言語・歴史・文化等を知ることが出来たとの声が寄せられています。</li> </ul>
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流都市との民間レベルでの交流促進のため、交流協会のコーディネート機能に期待が高まることが予測されます。</li> <li>・交流都市へのバスツアーや物産交流など、交流協会の活発な事業展開を望む声が多くなることが予測されます。</li> </ul>
	評価と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会状況の変化に合わせて事業メニューを見直ししながら事業を展開していくことが必要となっています。</li> <li>・多文化共生時代に対応し、国際交流の分野では、在住外国人が地域の一員として様々な活動に参加していくよう、事業内容の見直しが必要とされています。国内交流では、行政主導の交流から住民や各種団体相互が経済、文化、スポーツ等の交流を活発化できるよう、交流協会のコーディネート役としての、機能充実が求められています。</li> <li>・区としては、交流協会と連携しながら、今後の方向性等について、引き続き協議していきます。</li> </ul>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の交流協会については、現行の組織体制を維持したうえで、事業の見直しや新規事業の実施を行い、交流事業の拡充を測っていきます。</li> <li>・若年者から高齢者まで、男女を問わず事業に参加することができ、楽しむことが出来るような多様な事業の実施をしていきます。</li> <li>・コミュかるショップの集客力や売り上げがアップするような、商品の陳列の仕方や品目の見直し・改革を行っていきます。</li> <li>・より多くの区民に交流協会事業の理解が図られるような情報提供を行っていきます。</li> </ul>		

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災被災地支援に区と共に取り組むことが求められています。南相馬や北塩原村への応援ツアー等を実施します。</li> <li>・24年度に予定されている区制80周年記念事業について、区と連携し行っていきます。</li> </ul>
------	---



## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	保養のための宿泊機会の提供		款	3	項	1	目	3	事業	1	整理番号	72	
担当部課名	区民生活部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号	3754		昨年度整理番号	74			
(平成23年度担当部課名)			区民生活部管理課					予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区貸与宿泊施設区民宿泊費補助金交付要綱 (2) 財産の使用賃借及び宿泊事業に関する契約				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○宿泊施設を民間事業者へ貸与し実施する民営化宿泊施設事業					活動指標名(式)		(1) 民営化宿泊施設区民利用者数 (2) 民営化宿泊施設区外利用者数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○民営化宿泊施設(湯の里「杉菜」、コニファーいわびつ、富士学園、弓ヶ浜クラブ)の大規模修繕、土地等に関する管理調整、区民宿泊費補助金の支給等を行う。					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
		成果指標名(1)		4施設平均の客室稼働率		算定式・指標の説明等		利用者÷客室数×100					
		成果指標名(2)		管理監督費歳入額		算定式・指標の説明等		4施設管理監督費歳入合計額					
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	24,678	27,510	22,338	25,810	19,935	25,810	77.2			
	活動指標(2)	②	人	24,529	22,490	30,533	24,190	17,959	24,190	74.2			
	成果指標(1)	③	%	59.0	73.0	59.0	73.0	64.0	73.0	87.7			
	成果指標(2)	④	千円	8,233	11,000	8,621	11,000	13,516	14,000	122.9			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	95,858	106,860	88,741	89,893	79,922	79,900	23年度予算執行率% 88.9			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	8,766	30,343	21,495	6,583	5,026	1,626				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.70 0.00	1.65 0.00	1.70 0.00	1.20 0.00	1.31 0.00	1.40 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	15,094	14,718	15,164	10,680	11,659		12,460		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	110,952	121,578	103,905	100,573	91,581	92,360				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	4,496	4,419	4,651	3,897	4,594	3,578				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	9,089	349	9,023	102	13,618		1,023		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	9,089	349	9,023	102	13,618	1,023				
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	101,863	121,229	94,882	100,471	77,963	91,337					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	8.2	0.3	8.7	0.1	14.9	1.1					

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 72

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		区民利用補助金	19,935	人	52,604
	施設維持管理(4施設)				26,100
	施設大規模修繕工事		1	箇所	1,218
	その他 ( )				0
	(2) 事業実績	7月に実施した平成23年度事務事業等の外部評価(杉並版「事業仕分け」)の評価結果を受け、区民意向調査を実施するとともに、区内に民営化宿泊施設あり方検討会を設置し、今後の民営化宿泊施設のあり方について検討を行いました。施設の利用状況については、平成23年3月に発生した震災により、年度当初は、どの施設も宿泊者が減少しました。ユニファーいわびつでは3月17日から10月19日まで、南相馬市等からの被災者の受入を行っていたため、一般の宿泊を中止しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
	平成14年度の民営化後、23年度から第4期の無償貸与契約を締結しました。毎年度4施設合計で概ね5万人もの利用者数を確保していますが、区民による利用は減少傾向にあります。	
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成24年1月～2月に実施した区民意向調査(1400サンプル、回収率76.5%)を実施しました。主な実施結果は、以下のとおりです。①「区が施設を保有することについて」は、「必要ない(37.9%)」が「必要である(33.7%)」を若干上回りました。②「区が施設を所有しないが、区の指定する民間施設の宿泊費の一部を補助する方法などを採用するとした場合について」は、「良いと思う(48.1%)」が「良くないと思う(21.8%)」を大きく上回りました。③「区が宿泊を伴う保養の機会を提供することについて」は、「必要ない(34.6%)」が「必要である(32.7%)」を若干上回りました。
	今後の予測	施設の経年劣化に伴う、建物・設備の老朽化が進んでいきます。
	評価と課題	区民利用の減少や施設の経年劣化が進むことなどを踏まえ、民営化宿泊施設のあり方についての検討を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性
		II 事業の改善 <input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	民営化宿泊施設については、特に今後10年間における修繕費の動向をはじめ、民間における廉価な宿泊施設が多い中で、これからも区が施設を保有する必要性などについて、あらゆる角度から見直しを進め、方針を確定していきます。	

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並会館の維持管理			款	3	項	1	目	3	事業	2	整理番号	73	
担当部課名	区民生活部管理課			係名	庶務係			連絡先電話番号	3754			昨年度整理番号	75	
(平成23年度担当部課名)				区民生活部管理課				予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	42	年度				<input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則							
	杉並区在住在勤在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者							等 (2) 杉並区行政財産使用料条例・同施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○杉並会館の適切な維持管理・運営により、区民の地域活動の場を提供する。							活動指標名(式) (1) 利用回数(宴会室3室、集会室3室) (2) 利用人数(宴会室3室、集会室3室)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用に供するため、会館施設の維持管理を行う。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 利用人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 稼働率 算定式・指標の説明等 利用回数÷利用可能枠×100							
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画	
指標	活動指標(1)	①	回	2,600	2,700	2,507	2,700	2,386	2,700	88.4				
	活動指標(2)	②	人	49,611	53,000	46,390	53,000	39,130	53,000	73.8				
	成果指標(1)	③	人	49,611	53,000	46,390	53,000	39,130	53,000	73.8				
	成果指標(2)	④	%	47.1	48.0	46.0	48.0	44.0	48.0	91.7				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	58,946	61,197	60,501	78,504	73,703	61,680	23年度予算執行率% 93.9				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	44,239	44,239	44,221	61,156	58,740	44,722					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.80 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	0.71 0.00	0.65 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	7,103	5,798	5,798	5,785	6,319					5,785
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	66,049	66,995	66,299	84,289	80,022	67,465					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	25,403	24,813	26,446	31,218	33,538	24,987					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	9,836	9,584	9,646	9,723	9,364					9,723
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	9,836	9,584	9,646	9,723	9,364	9,723					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	56,213	57,411	56,653	74,566	70,658	57,742					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	14.9	14.3	14.5	11.5	11.7	14.4						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 73

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建物総合管理委託	1	館	30,463
		受付案内業務委託			13,457
		機械警備委託			302
		光熱水費			14,032
		その他（小規模修繕 ほか）			15,449
	(2) 事業実績	震災の影響やその後の節電対策(7月～9月の間、通常休館日に加え、週1回臨時休館日を設ける)などの要因から、杉並会館の利用実績が減少しました。例年、建物総合管理委託業者が主催し、夏休み中に実施していた「キッズテーブルマナー教室」も、節電対策のため実施しませんでした。建物面においては、平成24年度中に昇降機の部品供給が停止されるために、昇降機取替工事を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	モニタリングの際の会館利用者のアンケートからは、いつも清掃が行き届いていて、食事の提供もとても美味しいとのアンケートが多数寄せられています。その反面、バリアフリーに対応した施設の改修を求める声が少なからず寄せられています。
	今後の予測	会館は、建築後40年以上経過し、建物内の施設・設備の老朽化が進んでいます。宴会機能を備えた施設の必要性の有無なども今後の検討課題となると考えます。
	評価と課題	平成23年度は震災の影響による電力削減のため、閉館時間を早めたり、臨時休館日を設けるなどの対応をすることとなり、年間利用者数は減ったものの、年間の部屋可動率が40%以上を維持できたので、今後も一層部屋稼働率を向上させるべく今後も区民のニーズの把握に努め、新たな事業の展開の検討やPRの充実を図り、利用を促進していきます。さらに、施設の老朽化及び耐震対策に対して、随時改修工事等を進めていき、安心安全な施設に努めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	杉並会館は、100名程度収容できる宴会機能をもった施設です。今後の杉並会館のあり方については、そのような機能を区が保有するか否かも合わせて、総合計画・実行計画における行財政改革基本方針の「区立施設の再編・整備」計画の中で検討していきます。					

特記事項	
------	--